

くしゃみ・鼻みず・鼻づまり・なみだ目・頭が重い

鼻炎用内服薬

# プロピン鼻炎カプセルS

## 【特徴】

従来、くしゃみ・鼻みず・鼻づまりといえば、かぜの代名詞のように言われてきましたが、最近では、花粉やハウスダストなどによって起こるアレルギー性の鼻炎にかかる人が大変増えています。いずれの場合にも、早めに治さないと鼻みずや鼻づまりが更にひどくなり、不快症状が続いてなかなか治らなくなってしまいます。鼻にきたら、この**プロピン鼻炎カプセルS**で早めに治しましょう。1回1カプセルの服用で鼻みずが止まり、鼻の通りがよくなります。また頭重やなみだ目といった不快症状も同時におさまってきます。

**プロピン鼻炎カプセルS**は服用しやすい小さなカプセルです。早速お試しください。



## 使用上の注意

### してはいけないこと



(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないでください。

他の鼻炎用内服薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等（かぜ薬、鎮咳去痰薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等）、胃腸鎮痛鎮痙薬

2. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。

(眠気や目のかすみ、異常なまぶしさ等の症状があらわれることがある。)

3. 長期連用しないでください。

### 相談すること



1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

(1) 医師の治療を受けている人。

(6) 次の症状のある人。

(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。

高熱、排尿困難、むくみ

(3) 授乳中の人。

(7) 次の診断を受けた人。

(4) 高齢者。

緑内障、糖尿病、甲状腺機能障害、心

(5) 薬などによりアレルギー症状を起したことがある人。

臓病、高血圧、腎臓病

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	頭痛
泌尿器	排尿困難
その他	顔のほてり、異常なまぶしさ

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
偽アルドステロン症、 ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらくらとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。

- 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。口のかわき、眠気、便秘、目のかすみ
- 5～6日間服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

### 効能又は効果


急性鼻炎、アレルギー性鼻炎又は副鼻腔炎による次の諸症状の緩和：くしゃみ、鼻みず（鼻汁過多）、鼻づまり、なみだ目、のどの痛み、頭重（頭が重い）

### 用法及び用量

次の1回量を1日3回、毎食後に服用してください

年 齢	1 回 量	1 日 服 用 回 数
大人（15歳以上）	1 カプセル	3 回
15歳未満	服用しないこと	

### <用法及び用量に関連する注意>

- 本剤は、定められた用法及び用量を厳守してください。
- 15歳未満の小児には服用させないでください。
- 右図のようにカプセルの入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し（PTPシートの取り出し図）て裏面のアルミ箔を破り、取り出してお飲みください（誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。）。

### 成分及び分量 1日量（3カプセル）中

成 分	分 量
d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	6mg
ペラドンナ総アルカロイド	0.4mg
dl-メチルエフェドリン塩酸塩	60mg
無水カフェイン	120mg
グリチルリチン	60mg

添加物としてトウモロコシデンプン、ステアリン酸Mg、ラウリル硫酸Na、ゼラチン、その他2成分を含有します。

### 保管及び取扱い上の注意

- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- 小児の手の届かない所に保管してください。
- 他の容器に入れ替えないでください（誤用の原因になったり品質が変わる。）。
- 使用期限をすぎた製品は服用しないでください。